

計画事業番号	00500	事務事業名	農業後継者等育成事業	担当部署	経済部農政課	電話	4602
--------	-------	-------	------------	------	--------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	北広島市農業後継者等育成基金条例・農業後継者等育成奨励金交付要綱・北広島市新規就農者支援金交付要綱				
事務事業開始年度	昭和61年度	個別計画等					
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第4章) 活気ある産業のまち	
	(第1節) 農業の振興	
	(施策1) 担い手の育成	
2 対象	農業後継者等(農業後継者の地域リーダー、女性農業者、新規就農者、農地所有適格法人の従業員)	
3 目的と内容	本市農業の持続的発展のために、次代の担い手である農業後継者等の育成及び確保を図るため、農業後継者等の研修への補助(所要額の3分の2、上限あり)や新規就農者の定着促進を図る支援金(就農4年目から2年間、対象経費の3分の1、上限30万円)を交付する。 【前回推進計画からの変更点】 変更なし	
4 実施内容(手段)	2 8 年度 まで	農業後継者等の活動等に農業後継者等育成基金より補助金を交付。 平成24年度 後継者等育成2件(JA道央青年部北広島ブロック研修会・視察) 平成25年度 後継者等育成2件(JA道央青年部北広島ブロック研修会・視察) 平成26年度 後継者等育成1件(全国農協青年組織協議会の海外現地研修) 平成27年度 後継者等育成3件(JA道央青年部北広島ブロック視察研修他2件)、新規就農者支援金の交付1件 平成28年度 後継者等育成1件(全国農協青年組織協議会の国内現地研修)、新規就農者支援金の交付1件
	2 9 年度	1 農業後継者等が参加する視察研修、研究事例発表会などの活動に対する支援として、農業後継者等育成基金から助成を行う(3分の2)。 2 新規就農から4年目となる新規就農者2名に新規就農者支援金を交付する。(対象経費の3分の1、上限30万円)

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
農業後継者等の研修活動等への助成 新規就農者支援金の交付	農業後継者等の研修活動等への助成 1件 44千円 新規就農者支援金の交付 1件 300千円	農業後継者等の研修活動等への助成 新規就農者支援金の交付	農業後継者等の研修活動等への助成 新規就農者支援金の交付	農業後継者等の研修活動等への助成 新規就農者支援金の交付	農業後継者等の研修活動等への助成 新規就農者支援金の交付	農業後継者等の研修活動等への助成 新規就農者支援金の交付	農業後継者等の研修活動等への助成 新規就農者支援金の交付

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	農業者が減少している中、持続性の高い農業の展開を図るため担い手や新規就農者の育成に資する研修活動等を引き続き推進するため現状継続とする。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		344		900		900		1,200		
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	5		900		900		1,200	
		一般財源	339		0		0		0	
	① 合計	344		900		900		1,200		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④		1,184		1,740		1,740		2,040		

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 研修活動等実績	目標値	4	2	2	2
		実績値	2			
	② 研修活動等交付実績	目標値	4	2	2	2
		実績値	2			
③	目標値					
	実績値					
成果指標	① 対象新規就農者数	目標値	1	2	2	3
		実績値	1			
	②	目標値				
		実績値				
③	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	名誉市民故松原太郎翁の遺志による寄附に基づく基金であり、市農業の発展のための優秀な担い手育成を図るための補助金であることから妥当と考える。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	次代を担う農業後継者、地域農業発展の推進役を果たす地域リーダー及び女性農業従事者に有用な研修の機会を提供しており、また、新規就農者の経営安定、定着促進に寄与している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	農業者の高齢化と後継者の減少の中で、後継者や担い手の育成、新規就農促進に有用な事業であり、事業の周知推進による交付実績拡大の可能性はある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	農業後継者の育成・確保は本市農業の重要な課題であり、現状の支援内容を維持することとし、コスト削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--